



観音寺小だより

〈発行〉
観音寺市立
観音寺小学校

校庭の風景

一学期末を迎えて



〈社会科公開授業〉



〈社会科サブリ〉



〈体育サブリ〉

開けそうで開けない梅雨空の下、子どもたちは、残り数日になった一学期の締めくくりががんばっています。先日は、お忙しい中、PTA教育懇談会に御参会いただき、ありがとうございます。保護者の皆様の御協力で滞りなく終えることができました。

開校三年目を迎えた今年。二月十日の社会科学の全国大会に向けて、子どもたちも教職員も一丸となって授業づくりと学校生活良習慣作りに取り組んでいます。

一学期には学校訪問を始め、学力向上モデル校事業に係る公開授業、一年経験者の校内研究授業など多くの授業研究を行いました。その中で、教職員の授業力の伸びと子どもたちの学びの伸長が顕著に見られました。

また、「体育館の無言入退場」は、歩き方にも気をつけて入退場できるようになりつつあります。より静かに、凛とした空気の中で全校朝会や各種行事を行えるようになっていきます。七日に運動場で行った全校生による体育サブリでは、体育館入場と同様に全校生が無言で集合しました。このように、学校生活の良習慣が広がりを見せています。

これから始まる四十日余りの夏休み、子どもたちの学びと成長の場が家庭や地域となりまです。夏休みだからこそ、家庭や地域だからこそできる本物体験。御支援をお願いいたします。

～がんばる観音寺っ子～

- ◎ 欠席ゼロで賞 1年1組、6年1組、6年2組
- ◎ 百人一首赤札名人 1年 松本 絢心
- ◎ 百人一首橙札名人 1年 上川 馨平、2年 堀越 あやめ

夏休みに行われる市水泳記録会(5・6年)、県水泳大会(5・6年)、三観小学生水泳記録会(1～4年)、そしてNHK合唱コンクール、それぞれの場での活躍を大いに期待しています。

お知らせ・お願い

- 一ノ谷川の護岸工事が一時休止しています。しかし、8月末から9月初め頃に再開する見込みです。再開期日が決まりましたら、お知らせいたします。
- 学校に寄せられる御意見の中に、「ヘルメットをかぶらずに自転車に乗る児童がいます。心配です。」という内容のものが複数あります。ヘルメットの有無は時に生死を分けることにもなります。先日の全校朝会でも必ずヘルメットをかぶるようにと子どもたちに呼びかけています。御家庭でも、自転車が出かけるときに声をかけて頂けたらと思います。



大切にしたい「言葉」

元慶應大学幼稚舎舎長の川崎悟郎氏が書かれた本の中に、次のような文章があります。

過保護に生長したブドウより、その品種の生産園ぎりぎりのところで、ブドウみずから必死に生きようとする力をつけたものが良質のワインを作るのにはいいのだそうだ。…中略…要は「やる気を見せた」ブドウそのものがワインを決める全てだ。しかし、ストレスをかけ過ぎるとブドウは全滅してしまう。

上等なワインづくりと子育てとを関連させた川崎氏はこうも続けます。

親は保護過剰にならず、ほどよいストレスを与え、それによって子ども自身が栄養分を取ろうとする根を張ることがたいせつなのです。

子どもの成長にとって「ほどよいストレス」とはどの程度のものなのか。子どもが「やる気を見せる」適度な困難とはどのようなものなのか。この見極めは非常に難しい問題だと思えます。

しかし、欲しいものを与え、親が先回りして失敗しないようにお膳立てをするような過保護は、子どもの成長を妨げるものになります。子ども一人ひとりによって「適度」には違いがあります。私たち親は、自分の子どもにしっかりと向き合い、適度な負荷のラインを設定していくことが重要なのだと思います。